

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	表彰式典開催事業						担当部	市長公室							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	秘書広報課							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	秘書係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 市民生活		3 市民協働		1 市民協働によるまちづくり意識を高める									
		副目的														
	予算区分	款	2		項	1		目	2		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	小牧市表彰条例、同施行規則														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	市政功労者や叙勲等の受章者の功績・栄誉を称えることにより、市政へ貢献している人を広く市民へ周知し、市政に対する意識を高める。														
	内容 (手段)	<p>市表彰条例に基づき市政功労者を決定し、新年賀詞交換会と同時に市政功労者表彰式を開催し、表彰及び記念品を贈る(年1回)。 叙勲・褒章受章者に対しては、市政功労者表彰式において記念品を贈る。叙勲受賞者祝賀会はH21年度をもって廃止した。 職員・教職員表彰(小牧市職員表彰規則、小牧市教職員表彰規則)は、H22年度に見直しをし、制度を廃止した。(詳細は下記のとおり) 第2条職員が次の各号のいずれかに該当するときは、市長がこれを表彰する。 (1) 公務の処理に当たりその功績顕著なとき。 (2) 職務の内外を問わず善行があったとき。 (3) 25年以上職員として勤続し、誠実に職務に精励したとき。 (小牧市職員表彰規則抜粋) 第2条 次の各号のいずれかに該当する教職員については、市長がこれを表彰する。 (1) 職務に精励し、他の模範となる者 (2) 職務に関する研究・実践等により、教育効果の向上に功績のあった者 (3) 職務の内外を問わず教職員として名誉を高める善行のあった者 (4) 前3号に掲げる者のほか、市長が特に表彰を適当と認める者 (小牧市教職員表彰規則抜粋)</p> <p>【平成24年度決算直接経費の内訳】 自治功労・一般表彰等記念品料 337,425円 叙勲受章者記念品料 420,000円 市政功労者表彰式会場設営委託料 94,500円 パンフレット印刷代 81,900円 筆耕翻訳料 18,900円</p> <p>【平成25年度予算直接経費の内訳】 自治功労・一般表彰等記念品料 1,326,000円 叙勲受章者記念品料 600,000円 市政功労者表彰式会場設営委託料 150,000円 パンフレット印刷代 130,000円 筆耕翻訳料 80,000円</p>														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	911	1,523	1,140	2,583	
		正職員	従事者数	人	0.15	0.15	0.15	0.15
			人件費	千円	799	799	799	799
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	1,710	2,322	1,939	3,382	
	対前年比	%		135.7	83.5	174.4		
財源	一般財源	千円	1,710	2,322	1,939	3,382		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	市政功労者表彰式、新年賀詞交換会	回	目標	1	1	1
実績				1	1	1	
職員・教職員表彰式		回	目標	1	—	—	—
			実績	0	—	—	
章祝賀会、危険業務記念		回	目標	—	—	—	—
			実績	—	—	—	
成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25	
被表彰者	人	目標	—	—	—	—	
		実績	19	22	9		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	平成25年1月4日に、市役所大会議室において一般表彰・自治功労表彰7名（市職員部長職5名、教員2名）と小牧市市民会館ホールにおいて一般表彰・自治功労表彰2名（民生委員・児童委員1名、市議会議員1名）を表彰した。（市民会館ホールにおける一般参加者は約250名）				
	事業実施における課題	事業を縮小・廃止したときの影響	長年市政に貢献した人物・団体への表彰であり、市の表彰制度がなくなることは、市政参画意欲の低下を招く恐れがある。				
		事業実施における課題	今後も市政に貢献した人への表彰は続けて行く必要があるが、表彰基準については、誰もが納得できる時代に適合した内容になっているか常に留意する必要がある。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	現在3年以上部長職を務めた職員及び3年以上市内小中学校長を務めた教職員を表彰対象としているが、表彰対象者として、時代にそぐわないと考えられるため、表彰対象から除外するよう検討する。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの			
		判定理由	H22年度の職員・教職員表彰制度の廃止に続き、3年以上部長職を務めた職員及び3年以上市内小中学校長を務めた教職員を表彰対象から除外する。				
		26年度以降の改善案	他の自治体における表彰対象分野を調査し、市民で功績顕著な方を表彰していくなど時代に適した表彰対象を研究する。				

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。